

音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース 1 年次 受講科目一覧

企画制作専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習 I（前期）	34	2	1
実習	分野別実習 I（後期）	34	2	1
講義	一般教養 I	68	2	4
講義	音楽史 I	68	2	4
講義	舞台知識 I	68	2	4
講義	P C 知識 I	68	2	4
講義	コンサートスタッフ知識 I	68	2	4
実習	プロダクトデベロップメント I	68	2	2
実習	デザイン I	68	2	2
演習	企画制作基礎 I	68	2	4
演習	企画制作応用 I	68	2	4
演習	スタッフワーク基礎 I	68	2	4
演習	スタッフワーク応用 I	68	2	4
講義	業界知識 I	72	2	4
合計		888	26	46

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養 I		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	一般教養 I	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
①企業に就職するために必要な一般教養としての知識とスキルを身に付ける。 ②人として信頼されるための第一印象の重要性、ビジネスマナー(マナーの5原則・敬語・電話対応など)、履歴書の作成方法、面接対策。 ③卒業後の自分を見据えるためのキャリアビジョンを設定し、実現に向けて何が必要かを考えていく。							
到達目標							
・社会人になるための心構え、教養、作法を身に付け、自身の目標を明確にし、その目標に向かってのプランニングができるようになる。 ・身だしなみや挨拶の仕方、正しい敬語の使い方など社会人として必要な一般常識、並びに名刺交換の作法、電話対応、ビジネスメールの書き方など、ビジネスマナーの知識を身に着ける。 ・就職活動の際に必要な履歴書及びエントリーシートの作成ができるようになる。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・自分の第一印象は？、信頼印象力、自己分析 ・キャリアビジョン(目標設定)
【前期】 4～7回目	・マナーとは？、マナーの5原則 ・就活の身だしなみ ・敬語とは？(尊敬語、丁寧語、謙譲語、クッション言葉、間違えやすい敬語、自己紹介文作成)
【前期】 8～10回目	・コミュニケーション(グループコンサルティング) ・電話対応(かけ方、受け方、取り次ぎ方)
【前期】 11～13回目	・ビジネスメール ・就活についての基本事項、企業研究
【前期】 14～17回目	■前期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自分の第一印象・キャリアビジョンについての自分の考えをまとめたものを記述する。
【後期】 18～20回目	・キャリアビジョン(自己分析) ・企業研究、自己PR、志望動機作成 ・感情のコントロール
【後期】 21～24回目	・履歴書作成 ・エントリーシート作成 ・面接練習(個人、グループディスカッション)
【後期】 25～27回目	・一般常識、SPI対策 ・名刺交換 ・冠婚葬祭マナー
【後期】 28～30回目	・面接対策 ・履歴書写真撮影、メイク ・食事のマナー
【後期】 31～34回目	■後期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自己PRをまとめたものを記述する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分の第一印象について知ること、自分の長所をどのように活かし、短所をどのように変えていけばよいのかについて考え、自己成長につなげて行きましょう。 また、社会人として必要なビジネスマナーや一般常識も学んでいきます。自分のキャリアを考える一年にしていましょう。
備考	授業ごとに講師が準備した教材を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽史Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音楽史Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	自らのバンド経験を生かし、福岡を中心に楽器スタッフやイベントスタッフとして活躍。近年ではNUMBER SHOT・中洲ジャズ・Sunset Liveなどにもスタッフとして参加。 上記の経験を活かしポピュラーミュージックの歴史についての講義を行う。				
授業概要					
①ジャズやブルースの時代まで遡り、1950年代のエルヴィス・プレスリーや1960年代のビートルズなど、その時代を象徴するアーティストを時代背景と並行して学ぶ。 ②現代のポピュラーミュージックに至るまでの流行や低迷の歴史、並びに変遷を学び一つの事柄(ジャンルや、アーティスト、楽曲等)に対して深く掘り下げ、他との関連性を調べる習慣を身に付け、「知る」という行為、「探究心」を育てる。					
到達目標					
・数々のジャンルや時代背景についての理解を深め、実際に現場で演者が目指すであろう音楽像を様々な音楽ジャンルの中より察知し、具体的な提案や技術提供ができる人物になる。 そして音作りや演出等に活かせるよう感性を磨き、担当するアーティストの活動がより良いものとなるよう常に研究・模索する人物であること。					
・音楽業界人の一般教養として、あるいは、音楽についての会話を通じて、円滑なコミュニケーションを図る一つのツールとなる様、その知識を活用できる人物になること。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ジャズ、ブルースの誕生と時代背景の講義。
【前期】 4～7回目	1950年代のロックンロールの誕生などアメリカにおける流行音楽の講義。
【前期】 8～10回目	1960年代のビートルズの登場などイギリスにおける流行音楽の講義。
【前期】 11～13回目	1970年代以降、多様化するロックのジャンルの概要についての講義。
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	ハードロックの流行や多数の派生ジャンルの登場などの講義。
【後期】 21～24回目	1980年代のメタルやポップスの流行、MTVの登場などの講義。
【後期】 25～27回目	1990年代の様々な流行音楽の講義。
【後期】 28～30回目	その他、様々なジャンルについての講義。
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知るとはとても重要なことのひとつです。 授業を通して学んだことは、音作りや演出などに直接反映され、将来の仕事に繋げることができます。
備考	授業毎に講師作成の資料データを共有

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	電気・舞台知識Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	舞台知識Ⅰ		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	山口県・福岡県を中心に、音響オペレーターとしてブライダルをはじめ各種イベントや式典などの音響業務を担当。学生時代は電気科に所属、機材の設営を伴う現場では当時学んだ電気の知識を現在の業務に活かし活動。これらの経験を活かし、現場に役立つ知識を教授する。					
授業概要						
音楽・芸能・舞踏その他における、電気・舞台の基本知識と応用を身に付ける。華やかな演者の表舞台を裏から支えるスタッフの重要性を学ぶ。						
到達目標						
・様々な音響照明舞台現場に於ける一般常識やエンターテインメント業界の裏側の一般的な知識を身に付け、校外現場にも対応し社会人・業界人として活躍出来るよう学習する。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	劇場舞台に関しての講義①:社会の中での芸能とホール of の存在意義・日本の公立劇場とホールについて
【前期】 4～7回目	劇場舞台に関しての講義②:欧州のホール of の歴史、構造と文化的背景・ホール、劇場の性能と機能について
【前期】 8～10回目	劇場舞台に関しての講義③:文化芸術政策と劇場ホールについて
【前期】 11～13回目	劇場舞台に関しての講義④:劇場・音楽堂 その設備と運用について
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期授業内容より抜粋して筆記試験を行う。
【後期】 18～20回目	電気・電流に関しての講義①:電気とは?・感電の恐怖及び対策について
【後期】 21～24回目	電気・電流に関しての講義②:電気極性・電流・電圧・抵抗／電源計
【後期】 25～27回目	電気・電流に関しての講義③:劇場舞台での電源の取り方。
【後期】 28～30回目	電気・電流に関しての講義④:劇場舞台照明電源について。
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期授業内容より抜粋して筆記試験を行う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	舞台やイベントの現場では電気の知識や舞台の仕組みを理解しておくことがとても重要です。特に電気は正しい知識を持っていないと事故やケガにも繋がります。どんな現場でも必要となる知識なので、しっかり勉強しておけば将来必ず役に立ちます。一緒に頑張りましょう。
備考	教材として「舞台技術の共通基礎」を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	PC知識 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
情報に関する法規・制度や情報社会における個人の責任、情報モラル、個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的などの情報リテラシーからWord/Excel/PowerPointなどの基礎的なオフィスソフトの使い方を理解して就職後に必要な最低限の技術を身に付ける。					
到達目標					
・情報や情報メディアの特性をふまえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解する。 ・情報技術が人や社会にはたす役割と及ぼす影響について理解する。 ・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた文書と同様の文書を作成できることを目標とする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	著作権、肖像権等について/スピード検定を使ってキー入力習得・Wordで案内状の作成
【前期】 4～7回目	知的財産権について/Excelの基本を学ぶ
【前期】 8～10回目	デジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【前期】 11～13回目	音のデジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【前期】 14～17回目	画像のデジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【後期】 18～20回目	動画のデジタル化について/情報処理検定試験を使ってExcelの知識を深める
【後期】 21～24回目	ネットワークについて/情報処理検定試験を使ってExcelの知識を深める
【後期】 25～27回目	TCP/IPについて/HTMLを使ってホームページを作成
【後期】 28～30回目	データの圧縮について/PowerPointを実習する
【後期】 31～34回目	データの暗号化について/PowerPointを実習する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験と実技での作品により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Word/Excel/PowerPointは、ビジネスで標準的に使われているOfficeソフトウェア群です。これを使いこなすことは、仕事をする上で欠かせない技能になります。さらに、シンギュラリティを迎える20年後において、コンピュータの基礎基本を学ぶことは、それに順応できる力となります。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	イベント制作知識Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	選択		
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識Ⅰ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	全国各地にてイベント主催5年目。また、様々な音楽アーティストのブッキング・マネジメントを担当。全国各地のイベント主催者と交渉。アーティストのスケジュールを管理。						
授業概要							
地域文化という視点からイベントの知識を身に付けます。 ①自己の出身地の魅力を探り、その魅力にあったイベントを企画する。 ②それぞれの出身地の文化、歴史、観光、人文を世界に発信することを新たな地域おこしと観光資源につなげ、若者世代の音楽を軸にイベントを企画制作から実施を各自治体への提案書を作成する。							
到達目標							
観る側から作成する側へ。新たな発見と、自分の価値観を発見する。また、身近にどのようなイベントが開催されてるのか知り自身の知識にしてい く。また、SNSの情報、専門知識を身に付ける。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	企画書の知識。自分たちの出身地について調べ探求する。
【前期】 4～7回目	個々にプランの方向性を提案。
【前期】 8～10回目	プランに沿った企画書の制作及び企画書の制作について。
【前期】 11～13回目	最終的な企画書の完成に向けての調整。
【前期】 14～17回目	前期試験:プレゼンテーションによる実技試験および前期授業の筆記試験。
【後期】 18～20回目	効果的な宣伝方法について。
【後期】 21～24回目	アーティスト・関係各所との交渉について。
【後期】 25～27回目	イベントにおける予算の考え方について。
【後期】 28～30回目	仮想イベントをすとして。予算計画書作成・修正
【後期】 31～34回目	後期試験: プレゼンテーションによる実技試験および前期授業の筆記試験。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	企画書をつくり、沢山プレゼンし合ってみましょう！話す力も身につけ、それぞれの良さを吸収し素直に褒め合い、提案できる時間にしましょう。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プロダクトデベロップメントⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	プロダクトデベロップメントⅠ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	デザイナー歴7年以上。アーティストのジャケット写真・イベントフライヤーデザインを中心に、日本国内外で1,500点以上を制作。撮影・ビジュアルディレクションも行い、企画から制作まで一貫してブランド構築を手がける。自身のアパレルブランド運営や企業案件など、多岐にわたるジャンルのデザイン制作に携わっている。						
授業概要							
デザインの基礎を学びながら、つくることの楽しさを体験する授業。様々なデザインの制作に触れ、アイデアを形にする力を養う。技術の習得だけでなく、自分の感性や表現を大切にしながら、多くの制作経験を積むことを目的とする。イベントや実習と連動し、実際に使われるデザインを意識しながら学ぶ。							
到達目標							
① デザインの基礎知識(構図・配色・フォント等)を理解する ② アイデアをビジュアルとして形にできる ③ 制作を通して自分の得意分野を見つける ④ 制作することに自信を持つ ⑤ 楽しみながら主体的に制作へ取り組む姿勢を身につける							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	デザインの基礎・専門知識を学ぶ。簡易デザイン作成。
【前期】 4～7回目	既存デザインを再現。後、オリジナルデザイン制作。
【前期】 8～10回目	①フライヤー・SNS宣伝のデザイン制作。デザインを深掘りする。
【前期】 11～13回目	②フライヤー・SNS宣伝のデザイン制作。デザインを深掘りする。
【前期】 14～17回目	■ 前期試験: 前期に学んだ技術を使いデザイン課題を制作。
【後期】 18～20回目	コンセプトから決めた自分のロゴを作成。
【後期】 21～24回目	アーティストのグッズデザインやロゴ作成。
【後期】 25～27回目	作ったグッズを宣伝するフライヤー、PR作成。
【後期】 28～30回目	1年間の思い出をイラストレーターにて自由に制作。
【後期】 31～34回目	■ 後期試験: 1年間を通して学んだデザイン課題を出すので制作
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	まずはデザインすることの楽しさを学んで、慣れていきましょう！頭の中で作りたいものを実際に作れる楽しさ、難しさなどなどたくさん学び他の授業の制作にも役立てて欲しいです。基礎の後は自分の個性をしっかりとだしてたくさん制作しましょう！
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	広告デザインⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	デザインⅠ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	イラストレーター。建設会社や介護施設サイトにイラスト起用。 大手宿泊施設の冊子挿絵や温泉施設のポスター、様々なパンフレットデザインまで幅広く活動。						
授業概要							
Adobe Illustrator、Photoshopの基本操作や応用方法を身につけ、DTPについて実習を行う。 Adobe Premiere Proを使用し、学内イベントのLIVE映像の編集技術を身につける。							
到達目標							
・DTPに必要なPC技術を学ぶ。							
・フライヤーやグッズなど入稿作業を身に付ける。							
・色やフォントの効果を理解し、目的に沿ったデザイン表現が出来る。							
・作りたいものをそのまま形にすることが出来る。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	「Illustrator 基本操作・練習問題」図形・柄・複製 等。
【前期】 4～7回目	「ネームプレート制作」オープンキャンパス時に実際に使用されることを想定し、制作する。
【前期】 8～10回目	「Photoshop 基本操作・練習問題」写真の切り抜き・レタッチ 等。
【前期】 11～13回目	「コラージュ」的確に選択ツールを使いこなし、解像度やカラー補正を行う。
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験「ツアーフライヤーデザイン」 文字組みやアウトライン等、入稿を意識したデータ作り。
【後期】 18～20回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・不透明度・エフェクトの種類 等。
【後期】 21～24回目	「テロップ入れ」文字デザインから走り書きアニメーションまで。
【後期】 25～27回目	「ステッカー製作」手描きのイラストをPhotoshopで加工、原寸データの作成、パッキングまで。
【後期】 28～30回目	「ロゴマークデザイン」架空店舗のロゴを製作。完成後、写真に合成をする。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験「メニュー表制作」 文字の優先順位を考え、装飾まで制作する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Adobe Illustrator・Photoshopは、フライヤー制作や写真の加工をベースに、アイコン・ヘッダーの作成から動画の素材等、幅広くデザインすることが出来ます。 よって、どのような業界であってもAdobeソフトを扱えることは大変武器になります。 様々な制作物に取りかかる中で操作を覚えることはもちろん、デザインコンセプトまで説明出来るよう考えながら制作していきます。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択		
	学則別表上表記	企画制作基礎Ⅰ		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	全国各地にてイベントを主催し6年目。様々なアーティストやライブハウスと関わりを持つ。各地でコラボイベントなども開催。フェスのブックイングやアーティストのBACKDJも担当。また、自身も様々な音楽活動中。						
授業概要							
本授業ではイベントを企画立案から実際に主催、振り返りまで一貫して実践的に学ぶ。コンセプト設計、役割分担、進行管理、広報、予算管理など制作に必要な基礎力を身につける。音響・照明・ローディーチームとの情報共有や調整を通して、現場で求められる連携力・判断力を養う。チームで一つのイベントを創り上げる過程を通じて、制作側・出演者側双方の視点を理解し、一人一人の責任ある行動と協力の大切さを学ぶ。最終的には振り返りを行い、成功要因と改善点を整理し次回へ活かす力を育成する。							
到達目標							
1.イベント制作の基礎工程(企画・準備・運営・振り返り)を理解し、実践できる。 2.音響・照明・ローディーなど他セクションと適切に情報共有を行い、円滑な連携ができる。 3.チームでの役割と責任を自覚し、主体的に行動できる。 4.制作側・出演者側双方の立場や心情を理解し、配慮ある対応ができる。 5.実施後の振り返りを通して課題を分析し、改善策を言語化できる。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	イベントの基礎知識を学びつつコミュニケーションを取り合う。
【前期】 4～7回目	前期イベントの企画書制作。アーティスト選定。ブックイングの仕方など。フライヤー・グッズ制作。
【前期】 8～10回目	イベントに向け準備・役割分担 全員が全ての役割の理解・共有。
【前期】 11～13回目	資料・プロットなどの制作(出演者・音響照明ローディー・スタッフ)。当日の役割決め。
【前期】 14～17回目	前期試験: 前期イベントについて頑張った準備や反省点など筆記試験や授業の取り組みで評価。
【後期】 18～20回目	前期イベントの反省会。フィードバック。後期イベントに向けた企画制作打合せを行う。
【後期】 21～24回目	後期イベントの出演者選定・ブックイング。役割決め・企画書作り。
【後期】 25～27回目	フライヤー・グッズ制作・資料作り。ライブハウスやスタッフとのやりとりを進める。
【後期】 28～30回目	最終チェック。資料作り。全出演者やスタッフへ本番の段取りを明確に伝える。
【後期】 31～34回目	後期試験: 後期イベントの反省・1年の振り返りなど。筆記試験や授業の取り組みで評価。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しい企画の授業です。みんなで一つのイベントを作り上げることのやりがいや楽しさをまず学んでほしいです。イベントをするにはどれだけの方々が関わって何が必要かなど、しっかり一緒に学び素晴らしいイベントを作り上げましょう。全力サポートします。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作応用Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択		
	学則別表上表記	企画制作応用Ⅰ		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	全国各地にてイベントを主催し6年目。様々なアーティストやライブハウスと関わりを持つ。各地でコラボイベントなども開催。フェスのブックイングやアーティストのBACKDJも担当。また、自身も様々な音楽活動中。						
授業概要							
本授業ではイベントを企画立案から実際に主催、振り返りまで一貫して実践的に学ぶ。コンセプト設計、役割分担、進行管理、広報、予算管理など制作に必要な基礎力を身につける。音響・照明・ローディーチームとの情報共有や調整を通して、現場で求められる連携力・判断力を養う。チームで一つのイベントを創り上げる過程を通じて、制作側・出演者側双方の視点を理解し、一人一人の責任ある行動と協力の大切さを学ぶ。最終的には振り返りを行い、成功要因と改善点を整理し次回へ活かす力を育成する。 ※基礎で学んだ内容をもとに2コマ目として実施							
到達目標							
1. イベント制作の基礎工程(企画・準備・運営・振り返り)を理解し、実践できる。 2. 音響・照明・ローディーなど他セクションと適切に情報共有を行い、円滑な連携ができる。 3. チームでの役割と責任を自覚し、主体的に行動できる。 4. 制作側・出演者側双方の立場や心情を理解し、配慮ある対応ができる。 5. 実施後の振り返りを通して課題を分析し、改善策を言語化できる。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	イベントの基礎知識を学びつつグループ内でどういう企画がしたいかコミュニケーションをとる。
【前期】 4～7回目	前期イベントの打合せ、企画書制作。アーティスト選定。ブックイングの仕方など。フライヤー・グッズ制作。期限設定、日程設定など。
【前期】 8～10回目	イベントに向け役割分担をし、準備、打合せを行う。全員が全ての役割の理解・共有。
【前期】 11～13回目	資料・タイムテーブルなどの作成まとめ(音響照明ローディー・スタッフ)。当日の役割決め。
【前期】 14～17回目	前期試験: 前期イベントについて頑張った準備や反省点など筆記試験や授業の取り組みで評価。
【後期】 18～20回目	前期イベントの反省会。フィードバック。後期イベントに向けた企画制作打合せを行う。
【後期】 21～24回目	後期イベントの出演者選定・ブックイング。役割決め・企画書作り。
【後期】 25～27回目	フライヤー・グッズ制作・資料作り。ライブハウスやスタッフとのやりとりを進める。
【後期】 28～30回目	資料・タイムテーブルなどの作成まとめ。当日の役割決め。最終チェック。全出演者やスタッフへ本番の段取りを明確に伝える。
【後期】 31～34回目	後期試験: 後期イベントの反省・1年の振り返りなど。筆記試験や授業の取り組みで評価。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しい企画の授業です。みんなで一つのイベントを作り上げることのやりがいや楽しさをまず学んでほしいです。イベントをするにはどれだけの方々が関わって何が必要かなど、しっかり一緒に学び素晴らしいイベントを作り上げましょう。全力サポートします。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択		
	学則別表上表記	スタッフワーク基礎Ⅰ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	大手ライブハウスのステージマネージャーを経て、福岡にある自身のイベント会社にてステージマネジメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。						
授業概要							
①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。 ②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。							
到達目標							
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽スタッフとは？音楽スタッフの現状、舞台用語、楽器名称などの基礎知識。
【前期】 4～7回目	制作スタッフの立ち位置、ローディー、照明、舞台制作とのコミュニケーションなど。
【前期】 8～10回目	4バンド程度の実習、タイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【前期】 11～13回目	LIVEWEEKに向けての各セクションとの打合せ、STAGE PLOTの回収、各オペレーターに依頼、打ち合わせ。
【前期】 14～17回目	■前期試験：実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期試験の復習、2バンドのタイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【後期】 21～24回目	授業内で行った実習に対して反省及び改善。
【後期】 25～27回目	実際にトラブルを起こし、対処する。(機材トラブル等)
【後期】 28～30回目	4バンド、ダンスやパフォーマーなどがあるフェスの想定のもとにタイムスケジュール作成、進行、舞台監督、撤収作業など。
【後期】 31～34回目	■後期試験：実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク応用 I		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	スタッフワーク応用 I	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	大手ライブハウスのステージマネージャーを経て、福岡にある自身のイベント会社にてステージマネジメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。				

授業概要
①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。 ②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。 ※基礎で学んだ内容をもとに2コマ目として実施
到達目標
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽スタッフとは？音楽スタッフの現状、舞台用語、楽器名称などの基礎知識。
【前期】 4～7回目	制作スタッフの立ち位置、ローディー、照明、舞台制作とのコミュニケーションなど。
【前期】 8～10回目	4バンド程度の実習、タイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【前期】 11～13回目	LIVEWEEKに向けての各セクションとの打合せ、STAGE PLOTの回収、各オペレーターに依頼、打ち合わせ。
【前期】 14～17回目	■前期試験：実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期試験の復習、2バンドのタイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【後期】 21～24回目	授業内で行った実習に対して反省及び改善。
【後期】 25～27回目	実際にトラブルを起こし、対処する。(機材トラブル等)
【後期】 28～30回目	4バンド、ダンスやパフォーマーなどがあるフェスの想定のもとにタイムスケジュール作成、進行、舞台監督、撤収作業など。
【後期】 31～34回目	■後期試験：実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅠ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	業界知識Ⅰ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
音楽業界に関わる様々な業種について理解を深めることで、音楽業界の仕組みを学ぶ。							
到達目標							
前期では音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割とコンサート業界、レコーディング業界 の仕事内容について学びます。							
後期では音楽ビジネスに関わる権利、著作権、印税の仕組み、著作物について学びます。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽業界の仕組み① 音楽業界のお仕事～プロダクションの働きについて理解する 音楽業界の仕組み② レコード会社の働きについて理解する 音楽業界の仕組み③ 音楽出版社とJASRACの働きについて理解する
【前期】 4～7回目	イベント・コンサート業界の仕組み イベント・コンサートに関わる各セクションの仕事について理解する コンサート制作の仕事 イベントやコンサート制作会社の働きについて理解する コンサートスタッフの仕事 舞台監督や各業種の仕事情形について理解を深める コンサート関連の技術系の仕事の流れ PA・照明・ローディーの仕事の流れについて理解を深める
【前期】 8～10回目	業界用語と舞台用語 業界や現場で使われる用語を理解する 音源制作の仕事① CDが出来るまでの流れと楽曲発注について理解する 音源制作の仕事② プリプロ～レコーディングの流れを理解する
【前期】 11～13回目	音源制作の仕事③ マスタリングについて理解を深める 音源制作の仕事④ ジャケット制作について理解する 音楽ビジネスの現状 変化する音楽産業とミュージシャンの収入について
【前期】 14～18回目	ここまでのまとめとテスト 前期テスト テストの解説
【後期】 19～21回目	音楽ビジネスに関わる権利 ① ミュージシャンに関わる権利について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ② 著作権について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ③ 実演家とレコード製作者の両方に認められている権利について理解する
【後期】 22～25回目	音楽ビジネスに関わる権利 ④ 原盤について理解する 著作権管理事業の現状 著作権管理事業について理解する JASRAC の問題点 JASRAC の功罪などについて理解する 著作者に関わる印税の仕組み① CD販売の場合の著作権使用料による印税収入などについて理解する
【後期】 26～28回目	著作者に関わる印税の仕組み ② 動画投稿(共有)における著作権使用料などについて理解する 著作者に関わる印税の仕組み ③ 放送使用における著作権使用料について理解する 著作権隣接権に関わる印税の仕組み アーティスト印税の計算などについて理解する
【後期】 29～31回目	著作権にまつわる問題点 インターネットの普及でばら撒かれる海賊版の氾濫などについて理解する 著作物を利用する方法① ビジネス契約と著作権～「所有権」と「著作権」について理解する 著作物を利用する方法② 著作物の自由利用について理解する
【後期】 32～36回目	ここまでのまとめとテスト 後期テスト テストの解説
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	仕事情形の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース
1 年次 受講科目一覧

マネージャー専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習 I（前期）	34	2	1
実習	分野別実習 I（後期）	34	2	1
講義	一般教養 I	68	2	4
講義	音楽史 I	68	2	4
講義	舞台知識 I	68	2	4
講義	P C 知識 I	68	2	4
講義	音楽芸能知識 I	68	2	4
実習	プロダクトデベロップメント I	68	2	2
実習	デザイン I	68	2	2
演習	企画制作基礎 I	68	2	4
演習	企画制作応用 I	68	2	4
演習	スタッフワーク基礎 I	68	2	4
演習	スタッフワーク応用 I	68	2	4
講義	業界知識 I	72	2	4
合計		888	26	46

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養 I		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	一般教養 I	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☐	非該当 ☒	
担当講師 実務経歴						
授業概要						
①企業に就職するために必要な一般教養としての知識とスキルを身に付ける。 ②人として信頼されるための第一印象の重要性、ビジネスマナー(マナーの5原則・敬語・電話対応など)、履歴書の作成方法、面接対策。 ③卒業後の自分を見据えるためのキャリアビジョンを設定し、実現に向けて何が必要かを考えていく。						
到達目標						
・社会人になるための心構え、教養、作法を身に付け、自身の目標を明確にし、その目標に向かってのプランニングができるようになる。 ・身だしなみや挨拶の仕方、正しい敬語の使い方など社会人として必要な一般常識、並びに名刺交換の作法、電話対応、ビジネスメールの書き方など、ビジネスマナーの知識を身に着ける。 ・就職活動の際に必要な履歴書及びエントリーシートの作成ができるようになる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・自分の第一印象は？、信頼印象力、自己分析 ・キャリアビジョン(目標設定)
【前期】 4～7回目	・マナーとは？、マナーの5原則 ・就活の身だしなみ ・敬語とは？(尊敬語、丁寧語、謙譲語、クッション言葉、間違えやすい敬語、自己紹介文作成)
【前期】 8～10回目	・コミュニケーション(グループコンサルティング) ・電話対応(かけ方、受け方、取り次ぎ方)
【前期】 11～13回目	・ビジネスメール ・就活についての基本事項、企業研究
【前期】 14～17回目	■前期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自分の第一印象・キャリアビジョンについての自分の考えをまとめたものを記述する。
【後期】 18～20回目	・キャリアビジョン(自己分析) ・企業研究、自己PR、志望動機作成 ・感情のコントロール
【後期】 21～24回目	・履歴書作成 ・エントリーシート作成 ・面接練習(個人、グループディスカッション)
【後期】 25～27回目	・一般常識、SPI対策 ・名刺交換 ・冠婚葬祭マナー
【後期】 28～30回目	・面接対策 ・履歴書写真撮影、メイク ・食事のマナー
【後期】 31～34回目	■後期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自己PRをまとめたものを記述する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分の第一印象について知ることで、自分の長所をどのように活かし、短所をどのように変えていけばよいのかについて考え、自己成長につなげて行きましょう。 また、社会人として必要なビジネスマナーや一般常識も学んでいきます。自分のキャリアを考える一年にしましょう。
備考	授業ごとに講師が準備した教材を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽史Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	音楽史Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	自らのバンド経験を生かし、福岡を中心に楽器スタッフやイベントスタッフとして活躍。近年ではNUMBER SHOT・中洲ジャズ・Sunset Liveなどにもスタッフとして参加。 上記の経験を活かしポピュラーミュージックの歴史についての講義を行う。				
授業概要					
①ジャズやブルースの時代まで遡り、1950年代のエルヴィス・プレスリーや1960年代のビートルズなど、その時代を象徴するアーティストを時代背景と並行して学ぶ。 ②現代のポピュラーミュージックに至るまでの流行や低迷の歴史、並びに変遷を学び一つの事柄(ジャンルや、アーティスト、楽曲等)に対して深く掘り下げ、他との関連性を調べる習慣を身に付け、「知る」という行為、「探究心」を育てる。					
到達目標					
・数々のジャンルや時代背景についての理解を深め、実際に現場で演者が目指すであろう音楽像を様々な音楽ジャンルの中より察知し、具体的な提案や技術提供ができる人物になる。 そして音作りや演出等に活かせるよう感性を磨き、担当するアーティストの活動がより良いものとなるよう常に研究・模索する人物であること。					
・音楽業界人の一般教養として、あるいは、音楽についての会話を通じて、円滑なコミュニケーションを図る一つのツールとなる様、その知識を活用できる人物になること。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ジャズ、ブルースの誕生と時代背景の講義。
【前期】 4～7回目	1950年代のロックンロールの誕生などアメリカにおける流行音楽の講義。
【前期】 8～10回目	1960年代のビートルズの登場などイギリスにおける流行音楽の講義。
【前期】 11～13回目	1970年代以降、多様化するロックのジャンルの概要についての講義。
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	ハードロックの流行や多数の派生ジャンルの登場などの講義。
【後期】 21～24回目	1980年代のメタルやポップスの流行、MTVの登場などの講義。
【後期】 25～27回目	1990年代の様々な流行音楽の講義。
【後期】 28～30回目	その他、様々なジャンルについての講義。
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知ることはとても重要なことのひとつです。 授業を通して学んだことは、音作りや演出などに直接反映され、将来の仕事に繋げることができます。
備考	授業毎に講師作成の資料データを共有

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	電気・舞台知識Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	舞台知識Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	山口県・福岡県を中心に、音響オペレーターとしてブライダルをはじめ各種イベントや式典などの音響業務を担当。学生時代は電気科に所属、機材の設営を伴う現場では当時学んだ電気の知識を現在の業務に活かし活動。これらの経験を活かし、現場に役立つ知識を教授する。				
授業概要					
音楽・芸能・舞踏その他における、電気・舞台の基本知識と応用を身に付ける。華やかな演者の表舞台を裏から支えるスタッフの重要性を学ぶ。					
到達目標					
・様々な音響照明舞台現場に於ける一般常識やエンターテインメント業界の裏側の一般的な知識を身に付け、校外現場にも対応し社会人・業界人として活躍出来るよう学習する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	劇場舞台に関しての講義①:社会の中での芸能とホールの存在意義・日本の公立劇場とホールについて
【前期】 4～7回目	劇場舞台に関しての講義②:欧州のホールの歴史、構造と文化的背景・ホール、劇場の性能と機能について
【前期】 8～10回目	劇場舞台に関しての講義③:文化芸術政策と劇場ホールについて
【前期】 11～13回目	劇場舞台に関しての講義④:劇場・音楽堂 その設備と運用について
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期授業内容より抜粋して筆記試験を行う。
【後期】 18～20回目	電気・電流に関しての講義①:電気とは?・感電の恐怖及び対策について
【後期】 21～24回目	電気・電流に関しての講義②:電気極性・電流・電圧・抵抗／電源計
【後期】 25～27回目	電気・電流に関しての講義③:劇場舞台での電源の取り方。
【後期】 28～30回目	電気・電流に関しての講義④:劇場舞台照明電源について。
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期授業内容より抜粋して筆記試験を行う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	舞台やイベントの現場では電気の知識や舞台の仕組みを理解しておくことがとても重要です。特に電気は正しい知識を持っていないと事故やケガにも繋がります。どんな現場でも必要となる知識なので、しっかり勉強しておけば将来必ず役に立ちます。一緒に頑張りましょう。
備考	教材として「舞台技術の共通基礎」を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	PC知識 I	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
情報に関する法規・制度や情報社会における個人の責任、情報モラル、個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的などの情報リテラシーからWord/Excel/PowerPointなどの基礎的なオフィスソフトの使い方を理解して就職後に必要な最低限の技術を身に付ける。							
到達目標							
・情報や情報メディアの特性をふまえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解する。 ・情報技術が人や社会にはたす役割と及ぼす影響について理解する。 ・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた文書と同様の文書を作成できることを目標とする。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	著作権、肖像権等について/スピード検定を使ってキー入力を習得・Wordで案内状の作成
【前期】 4～7回目	知的財産権について/Excelの基本を学ぶ
【前期】 8～10回目	デジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【前期】 11～13回目	音のデジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【前期】 14～17回目	画像のデジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【後期】 18～20回目	動画のデジタル化について/情報処理検定試験を使ってExcelの知識を深める
【後期】 21～24回目	ネットワークについて/情報処理検定試験を使ってExcelの知識を深める
【後期】 25～27回目	TCP/IPについて/HTMLを使ってホームページを作成
【後期】 28～30回目	データの圧縮について/PowerPointを実習する
【後期】 31～34回目	データの暗号化について/PowerPointを実習する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験と実技での作品により「平常点 /意欲 /PC操作」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Word/Excel/PowerPointは、ビジネスで標準的に使われているOfficeソフトウェア群です。これを使いこなすことは、仕事をする上で欠かせない技能になります。さらに、シンギュラリティを迎える20年後において、コンピュータの基礎基本を学ぶことは、それに順応できる力となります。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	マネジメント知識Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	音楽芸能知識Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	米国広報プログラムによりニューヨークにおいて'92年プロデュース研修。東京や福岡でコンサート、演劇やファッションショーなどの企画、制作やプロデュースを数多く手掛ける。大手プロダクションにおいて福岡のダンスヴォーカルユニット、モデルや俳優の育成からマネージメントまで幅広く活動中。 上記の経験を活かし音楽及び芸能業界における歴史に関する講義を行う。					
授業概要						
マネージャーの業務は多種多様であるため、必要な専門基礎知識を学習していく。 基本的な業務内容から、マネージャーにおける役に立つ知識を学ぶ。						
到達目標						
・マネージャーで一番大事なコミュニケーション力を身につける。 ・エンタテインメント業界の内容を知る事で繋がりが流れが理解できるようになり、マネージャーのジャンル(タレント、俳優、歌手等)の仕事内容の理解をする。 ・著作権を学ぶことでミュージックビジネスの基本を知りプロダクションの業務内容や関連組織の理解で自分に合ったマネージャースタイルを考える。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	マネージャーとは？マネジメントとは？基礎から体系的に学ぶ
【前期】 4～7回目	著作権について(音楽・映像・イラストなど)
【前期】 8～10回目	アーティストをどうマネージメント・宣伝していくか
【前期】 11～13回目	業界用語・スケジュール管理について
【前期】 14～17回目	前期試験:前期の授業内容の筆記試験を実施
【後期】 18～20回目	SNS・広告にてのマーケティングの仕方
【後期】 21～24回目	香盤表の理解(作成まで行う)
【後期】 25～27回目	好きな仮想アーティストを作り、マネジメントしていく
【後期】 28～30回目	ミュージックビジネス・業界のまとめ
【後期】 31～34回目	後期試験:筆記試験。前期後期のまとめ
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	マネージャーはとても責任がある仕事です。知識だけでなく担当するタレントのメンタル面でのケアや、関係者へのコミュニケーション力、マネージャーのプロデュース力などでマネージャーの力で結果が変わってきます。しっかり身につけて楽しく理解しましょう。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プロダクトデベロップメントⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	プロダクトデベロップメントⅠ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	デザイナー歴7年以上。アーティストのジャケット写真・イベントフライヤーデザインを中心に、日本国内外で1,500点以上を制作。撮影・ビジュアルディレクションも行い、企画から制作まで一貫してブランド構築を手がける。自身のアパレルブランド運営や企業案件など、多岐にわたるジャンルのデザイン制作に携わっている。					
授業概要						
デザインの基礎を学びながら、つくることの楽しさを体験する授業。様々なデザインの制作に触れ、アイデアを形にする力を養う。技術の習得だけでなく、自分の感性や表現を大切にしながら、多くの制作経験を積むことを目的とする。イベントや実習と連動し、実際に使われるデザインを意識しながら学ぶ。						
到達目標						
① デザインの基礎知識(構図・配色・フォント等)を理解する ② アイデアをビジュアルとして形にできる ③ 制作を通して自分の得意分野を見つける ④ 制作することに自信を持つ ⑤ 楽しみながら主体的に制作へ取り組む姿勢を身につける						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	デザインの基礎・専門知識を学ぶ。簡易デザイン作成。
【前期】 4～7回目	既存デザインを再現。後、オリジナルデザイン制作。
【前期】 8～10回目	①フライヤー・SNS宣伝のデザイン制作。デザインを深掘りする。
【前期】 11～13回目	②フライヤー・SNS宣伝のデザイン制作。デザインを深掘りする。
【前期】 14～17回目	■ 前期試験: 前期に学んだ技術を使いデザイン課題を制作。
【後期】 18～20回目	コンセプトから決めた自分のロゴを作成。
【後期】 21～24回目	アーティストのグッズデザインやロゴ作成。
【後期】 25～27回目	作ったグッズを宣伝するフライヤー、PR作成。
【後期】 28～30回目	1年間の思い出をイラストレーターにて自由に制作。
【後期】 31～34回目	■ 後期試験: 1年間を通して学んだデザイン課題を出すので制作
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	まずはデザインすることの楽しさを学んで、慣れていきましょう！頭の中で作りたいものを実際に作れる楽しさ、難しさなどたくさん学び他の授業の制作にも役立てて欲しいです。基礎の後は自分の個性をしっかりとだしてたくさん制作しましょう！
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	WebデザインⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	デザインⅠ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	イラストレーター。建設会社や介護施設サイトにイラスト起用。 大手宿泊施設の冊子挿絵や温泉施設のポスター、様々なパンフレットデザインまで幅広く活動。				
授業概要					
タレント・アーティストのオフィシャルホームページやファンクラブの運営を想定し、実際にWebページの作成方法及び編集方法を学ぶ。 学内アーティストをピックアップし、発展的なプロモーション活動を行う。					
到達目標					
・タレント・アーティストのオフィシャルWEBサイトやファンクラブの運営を想定し、WEBサイトを制作する。 ・ユーザーの目線に立ったサイト構築を学習する。 ・WEBサイトを構築する機会に困らない基礎知識を身に付け、完成図を伝えられるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	Macの基礎・PC基礎知識。
【前期】 4～7回目	Adobe Photoshopを使用したサイトに掲載する写真の加工方法。
【前期】 8～10回目	Adobe Illustratorを使用したロゴやイラストの制作方法。
【前期】 11～13回目	デザインの基礎知識(配色からフォントの種類まで)。
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 18～20回目	WEBサイトの基礎知識。
【後期】 21～24回目	アーティストのWEBサイト制作①
【後期】 25～27回目	アーティストのWEBサイト制作②
【後期】 28～30回目	アーティストのWEBサイト制作③
【後期】 31～34回目	■後期試験:後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	多様な端末が普及したことで現在インターネットは新しいコミュニケーションツールとして定着しました。サイト制作者とユーザーのコミュニケーションをより良質にするために、欠かせない知識を習得します。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	企画制作基礎Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	全国各地にてイベントを主催し6年目。様々なアーティストやライブハウスと関わりを持つ。各地でコラボイベントなども開催。フェスのブッキングやアーティストのBACKDJも担当。また、自身も様々な音楽活動中。					
授業概要						
本授業ではイベントを企画立案から実際に主催、振り返りまで一貫して実践的に学ぶ。コンセプト設計、役割分担、進行管理、広報、予算管理など制作に必要な基礎力を身につける。音響・照明・ローディーチームとの情報共有や調整を通して、現場で求められる連携力・判断力を養う。チームで一つのイベントを創り上げる過程を通じて、制作側・出演者側双方の視点を理解し、一人一人の責任ある行動と協力の大切さを学ぶ。最終的には振り返りを行い、成功要因と改善点を整理し次回へ活かす力を育成する。						
到達目標						
1.イベント制作の基礎工程(企画・準備・運営・振り返り)を理解し、実践できる。 2.音響・照明・ローディーなど他セクションと適切に情報共有を行い、円滑な連携ができる。 3.チームでの役割と責任を自覚し、主体的に行動できる。 4.制作側・出演者側双方の立場や心情を理解し、配慮ある対応ができる。 5.実施後の振り返りを通して課題を分析し、改善策を言語化できる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	イベントの基礎知識を学びつつコミュニケーションを取り合う。
【前期】 4～7回目	前期イベントの企画書制作。アーティスト選定。ブッキングの仕方など。フライヤー・グッズ制作。
【前期】 8～10回目	イベントに向け準備・役割分担 全員が全ての役割の理解・共有。
【前期】 11～13回目	資料・プロットなどの制作(出演者・音響照明ローディー・スタッフ)。当日の役割決め。
【前期】 14～17回目	前期試験: 前期イベントについて頑張った準備や反省点など筆記試験や授業の取り組みで評価。
【後期】 18～20回目	前期イベントの反省会。フィードバック。後期イベントに向けた企画制作打合せを行う。
【後期】 21～24回目	後期イベントの出演者選定・ブッキング。役割決め・企画書作り。
【後期】 25～27回目	フライヤー・グッズ制作・資料作り。ライブハウスやスタッフとのやりとりを進める。
【後期】 28～30回目	最終チェック。資料作り。全出演者やスタッフへ本番の段取りを明確に伝える。
【後期】 31～34回目	後期試験: 後期イベントの反省・1年の振り返りなど。筆記試験や授業の取り組みで評価。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しい企画の授業です。みんなで一つのイベントを作り上げることのやりがいや楽しさをまず学んでほしいです。イベントをするにはどれだけの方々が関わって何が必要かなど、しっかり一緒に学び素晴らしいイベントを作り上げましょう。全力サポートします。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作応用Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	企画制作応用Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	全国各地にてイベントを主催し6年目。様々なアーティストやライブハウスと関わりを持つ。各地でコラボイベントなども開催。フェスのブッキングやアーティストのBACKDJも担当。また、自身も様々な音楽活動中。					
授業概要						
本授業ではイベントを企画立案から実際に主催、振り返りまで一貫して実践的に学ぶ。コンセプト設計、役割分担、進行管理、広報、予算管理など制作に必要な基礎力を身につける。音響・照明・ローディーチームとの情報共有や調整を通して、現場で求められる連携力・判断力を養う。チームで一つのイベントを創り上げる過程を通じて、制作側・出演者側双方の視点を理解し、一人一人の責任ある行動と協力の大切さを学ぶ。最終的には振り返りを行い、成功要因と改善点を整理し次回へ活かす力を育成する。※基礎で学んだ内容をもとに2コマ目として実施						
到達目標						
1.イベント制作の基礎工程(企画・準備・運営・振り返り)を理解し、実践できる。 2.音響・照明・ローディーなど他セクションと適切に情報共有を行い、円滑な連携ができる。 3.チームでの役割と責任を自覚し、主体的に行動できる。 4.制作側・出演者側双方の立場や心情を理解し、配慮ある対応ができる。 5.実施後の振り返りを通して課題を分析し、改善策を言語化できる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	イベントの基礎知識を学びつつグループ内でどういう企画がしたいかコミュニケーションをとる。
【前期】 4～7回目	前期イベントの打合せ、企画書制作。アーティスト選定。ブッキングの仕方など。フライヤー・グッズ制作。期限設定、日程設定など。
【前期】 8～10回目	イベントに向け役割分担をし、準備、打合せを行う。全員が全ての役割の理解・共有。
【前期】 11～13回目	資料・タイムテーブルなどの作成まとめ(音響照明ローディー・スタッフ)。当日の役割決め。
【前期】 14～17回目	前期試験: 前期イベントについて頑張った準備や反省点など筆記試験や授業の取り組みで評価。
【後期】 18～20回目	前期イベントの反省会。フィードバック。後期イベントに向けた企画制作打合せを行う。
【後期】 21～24回目	後期イベントの出演者選定・ブッキング。役割決め・企画書作り。
【後期】 25～27回目	フライヤー・グッズ制作・資料作り。ライブハウスやスタッフとのやりとりを進める。
【後期】 28～30回目	資料・タイムテーブルなどの作成まとめ。当日の役割決め。最終チェック。全出演者やスタッフへ本番の段取りを明確に伝える。
【後期】 31～34回目	後期試験: 後期イベントの反省・1年の振り返りなど。筆記試験や授業の取り組みで評価。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	楽しい企画の授業です。みんなで一つのイベントを作り上げることのやりがいや楽しさをまず学んでほしいです。イベントをするにはどれだけの方々が関わって何が必要かなど、しっかり一緒に学び素晴らしいイベントを作り上げましょう。全力サポートします。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択		
	学則別表上表記	スタッフワーク基礎Ⅰ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	大手ライブハウスのステージマネージャーを経て、福岡にある自身のイベント会社にてステージマネジメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。						
授業概要							
①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。 ②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。							
到達目標							
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽スタッフとは？音楽スタッフの現状、舞台用語、楽器名称などの基礎知識。
【前期】 4～7回目	制作スタッフの立ち位置、ローディー、照明、舞台制作とのコミュニケーションなど。
【前期】 8～10回目	4バンド程度の実習、タイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【前期】 11～13回目	LIVEWEEKに向けての各セクションとの打合せ、STAGE PLOTの回収、各オペレーターに依頼、打ち合わせ。
【前期】 14～17回目	■前期試験：実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期試験の復習、2バンドのタイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【後期】 21～24回目	授業内で行った実習に対して反省及び改善。
【後期】 25～27回目	実際にトラブルを起こし、対処する。(機材トラブル等)
【後期】 28～30回目	4バンド、ダンスやパフォーマーなどがあるフェスの想定のもとにタイムスケジュール作成、進行、舞台監督、撤収作業など。
【後期】 31～34回目	■後期試験：実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク応用 I		授業形態 / 必選	演習	選択					
	学則別表上表記	スタッフワーク応用 I	年次	1年次						
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位					
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ									
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □									
担当講師 実務経歴	大手ライブハウスのステージマネージャーを経て、福岡にある自身のイベント会社にてステージマネジメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。									
授業概要										
①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。 ②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。 ※基礎で学んだ内容をもとに2コマ目として実施										
到達目標										
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。										

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽スタッフとは？音楽スタッフの現状、舞台用語、楽器名称などの基礎知識。
【前期】 4～7回目	制作スタッフの立ち位置、ローディー、照明、舞台制作とのコミュニケーションなど。
【前期】 8～10回目	4バンド程度の実習、タイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【前期】 11～13回目	LIVEWEEKに向けての各セクションとの打合せ、STAGE PLOTの回収、各オペレーターに依頼、打ち合わせ。
【前期】 14～17回目	■前期試験：実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期試験の復習、2バンドのタイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【後期】 21～24回目	授業内で行った実習に対して反省及び改善。
【後期】 25～27回目	実際にトラブルを起こし、対処する。(機材トラブル等)
【後期】 28～30回目	4バンド、ダンスやパフォーマーなどがあるフェスの想定のもとにタイムスケジュール作成、進行、舞台監督、撤収作業など。
【後期】 31～34回目	■後期試験：実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅠ		授業形態 / 必修	講義	必修		
	学則別表上表記	業界知識Ⅰ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
音楽業界に関わる様々な業種について理解を深めることで、音楽業界の仕組みを学ぶ。							
到達目標							
前期では音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割とコンサート業界、レコーディング業界 の仕事内容について学びます。							
後期では音楽ビジネスに関わる権利、著作権、印税の仕組み、著作物について学びます。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽業界の仕組み① 音楽業界のお仕事～プロダクションの働きについて理解する 音楽業界の仕組み② レコード会社の働きについて理解する 音楽業界の仕組み③ 音楽出版社とJASRACの働きについて理解する
【前期】 4～7回目	イベント・コンサート業界の仕組み イベント・コンサートに関わる各セクションの仕事について理解する コンサート制作の仕事 イベントやコンサート制作会社の働きについて理解する コンサートスタッフの仕事 舞台監督や各業種の仕事内容について理解を深める コンサート関連の技術系の仕事の流れ PA・照明・ローディーの仕事の流れについて理解を深める
【前期】 8～10回目	業界用語と舞台用語 業界や現場で使われる用語を理解する 音源制作の仕事① CDが出来るまでの流れと楽曲発注について理解する 音源制作の仕事② プリプロ～レコーディングの流れを理解する
【前期】 11～13回目	音源制作の仕事③ マスタリングについて理解を深める 音源制作の仕事④ ジャケット制作について理解する 音楽ビジネスの現状 変化する音楽産業とミュージシャンの収入について
【前期】 14～18回目	ここまでのまとめとテスト 前期テスト テストの解説
【後期】 19～21回目	音楽ビジネスに関わる権利 ① ミュージシャンに関わる権利について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ② 著作権について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ③ 実演家とレコード製作者の両方に認められている権利について理解する
【後期】 22～25回目	音楽ビジネスに関わる権利 ④ 原盤について理解する 著作権管理事業の現状 著作権管理事業について理解する JASRAC の問題点 JASRAC の功罪などについて理解する 著作権に関わる印税の仕組み① CD販売の場合の著作権使用料による印税収入などについて理解する
【後期】 26～28回目	著作権に関わる印税の仕組み ② 動画投稿(共有)における著作権使用料などについて理解する 著作権に関わる印税の仕組み ③ 放送使用における著作権使用料について理解する 著作権隣接権に関わる印税の仕組み アーティスト印税の計算などについて理解する
【後期】 29～31回目	著作権にまつわる問題点 インターネットの普及でばら撒かれる海賊版の氾濫などについて理解する 著作物を利用する方法① ビジネス契約と著作権～「所有権」と「著作権」について理解する 著作物を利用する方法② 著作物の自由利用について理解する
【後期】 32～36回目	ここまでのまとめとテスト 後期テスト テストの解説
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。